

アイドルのミッション ～作詞家の思想の消化と普及～

研究成果のポイント

1. 1970年代はじめの時代思潮を背景に登場したアイドル歌手の存在を、経済思想としての意義という新たな視点から論じました。
2. 哲学・思想と大衆芸能とを対等にとらえた斬新な研究です。
3. 幸福に影響を与える文化資源としてアイドルを位置づけている点で意義があります。

国立大学法人筑波大学 人文社会系 平山朝治教授は、1970年代はじめに、マルクス主義的革命運動の退潮とともに登場したアイドル^{注1}の経済思想としての意義に新たな視点から迫った論考を発表しました。阿久悠、松本隆、山川啓介ら作詞家が当時の女性アイドル歌手に提供した詩が、アイドル本人や同世代ファンの人間としての成長に大きな影響を与えたとする考察をまとめたものです。

本研究には、幸福に影響する文化資源^{注2}としてアイドルを位置づけるという意義があります。

本研究の成果は、2017年3月発行の『筑波大学経済学論集』第69号で公開されました。電子版は、つくりポジトリ <https://tsukuba.repo.nii.ac.jp> で公開されています。

研究の背景

著者は、石川さゆりや岩崎宏美と同じ1958年生まれであり、彼女たちやそのファンをクラスメイト、作詞家の阿久悠を先生とする、阿久悠塾と呼べるような場で20歳前後の日々を過ごしました。40年の時を経てそのころの経験を反省するなかから本研究は生まれました。

研究にあたっては、実証的方法を基礎としながら解釈学的アプローチも活用し、阿久悠、松本隆、山川啓介ら作詞家が、日常のなかで見過ごされがちな真実や夢を描いた詞を、石川さゆり、岩崎宏美、松田聖子らに提供することで、アイドル本人や同世代のファンの人間としての成長を助け、彼女たちもそれを真摯に受け止めて消化し、同世代のファンの間に広めたさまを描き出しました。

研究内容と成果

従来、哲学・思想と大衆芸能とを対等にとらえる研究はありませんでした。しかし、岩崎宏美の7th オリジナルアルバム『パンドラの小箱』（1978年8月）の影響でフロイトやホワイトゲンシュタインを読み耽るようになった著者自身の体験から、アイドル歌謡は現代哲学思想入門の役割を果たしたことを実感しています。本研究では、アイドルたちの歌う詞から、近代哲学の独我論を否定しつつ自分の心と他人の心は一つであるという哲学的ヴィジョンが著者の中で結実し、それを定式化した結果が著者自身の最初の著書（参考文献）であることを示しました。このアプローチは、新たなパースペクティブから現代日本の文化や思想をとらえた成果といえます。

たとえば、石川さゆり『津軽海峡・冬景色』、岩崎宏美『思秋期』（いずれも阿久悠作詞・三木たかし作曲、1977年）

を見てみましょう。阿久悠には、初恋ないし理想の女性が20歳のときに捨てた男を刺すという衝撃的な出来事があったと思われます。彼はそうした経験から、20歳に近づいた石川さゆりや岩崎宏美が、別れや失恋の試練を乗り越えて20歳の壁を超えることができるようにとの祈りを込めた詞を彼女たちに提供しました。『津軽海峡・冬景色』と『思秋期』はその代表的な曲であり、彼女たちが19歳の1977年末、いずれも日本レコード大賞歌唱賞を受賞した曲でした。そしてそうした曲が、アイドル本人や同世代のファンの人間的な成長を助けることにつながったのです。

1960年代末先進諸国の若者の騒乱は、経済成長の物質的な成果に飽き足らない世代の不満を背景としていました。物質的にさらに豊かになることが幸福度の上昇と結びつかなくなってきた現代にあっては、そのことをふまえた幸福や幸福度指数の研究が、経済学をはじめとする人文社会科学における大きなテーマとなっています。本研究には、アイドルを幸福に影響する文化資源^{注2}として位置づけるという意義があります。

今後の展開

本研究の着眼点やアプローチは、アイドルに限らずさまざまな芸能を人々の普遍的幸福に寄与する文化資源として捉え直し、再評価する際に応用可能であると思われます。

用語解説

注1) アイドル: 日本においてアイドルと呼ばれる歌手は、日本テレビ『スター誕生!』(1971~83年)で合格、デビューした中高生にはじまり、同世代のクラスメイト的存在として支持されるという特色がある。

注2) 文化資源: 「多様な観点から文化をとらえ直し、新たな価値を発見・再評価し、それらを活かしたよりよい社会の実現をめざす方法を研究・開発しようとする」

(<http://www.l.u-tokyo.ac.jp/CR/>)という立場からとらえられた文化のこと。

参考文献

平山朝治『社会科学を超えて——超歴史的比較と総合の試み』(啓明社、1984年)、『平山朝治著作集 第1巻 増補・社会科学を超えて』(中央経済社、2009年)に再録

掲載論文

【題名】 アイドルのミッション——作詞家の思想の消化と普及

【英訳題名】 Mission of Japanese Idles: Digestion and the Spread of Lyricists' Thoughts

【著者名】 平山 朝治

【掲載誌】 『筑波大学経済学論集』第69号

doi.org/10.15068/00145446

問合わせ先

平山 朝治(ひらやま あさじ)

筑波大学 人文社会系 教授